

和楽器ユニット「おとぎ」メンバー



川村 旭芳-Kyokuho KAWAMURA (筑前琵琶・歌・語り/おとぎ代表)

神戸市出身在住。八歳の頃、母の勧めで筑前琵琶日本旭会 総師範 故柴田旭堂師に入門。

現在、筑前琵琶日本旭会 師範。門人会「筑前琵琶 川村旭芳会」主宰。

古典曲を継承しながら新作の創作にも取り組み、

阪神・淡路大震災の追悼曲ほか、母 川村素子の作詞による作品も発表。

1998年～2010年、和楽器オーケストラ 邦楽合奏団「鼎」(KANAE)に所属。

NHK FM「邦楽のひととき」他、テレビ・ラジオ出演。

ソロアルバム CD『川村旭芳作品集～母娘合作集～』『源平一ノ谷合戦』ほか。

動画配信サイト YouTube に「きよくほうチャンネル」公開中。

【公式サイト】 <http://www.kyokuho-biwagaku.jp/>



木場 大輔-Daisuke KIBA (胡弓/作曲・編曲)

淡路島出身。甲陽音楽学院にて音楽理論とピアノを学ぶ。古典胡弓を

原一男師に師事。一方で文楽、風の盆など日本各地で伝わる胡弓の奏法を研究。それらを組合せた演奏法の開発や、低音域を拡張した四絃胡弓の開発、作曲など、胡弓の伝統に新たな光を当てている。

2021年より、胡弓リサイタルを東京・紀尾井小ホールにて4年連続で開催。

NHK Eテレ「芸能きわみ堂」や国立劇場主催公演への出演など、

古典から現代邦楽、異分野との共演まで幅広く活動中。

作曲では日本を軸に世界の伝統楽器との作品まで展開している。

「木場大輔 胡弓の会」「絹擦会」代表。

【公式サイト】 <https://www.yuzuruha.net/>



折本 慶太-Keita ORIMOTO (箏・十七絃・二十絃・三絃・尺八)

愛媛県出身、大阪市在住。尺八を橋本岳人山師に、箏・三絃を狩谷趣義師に、十七絃・二十絃を宮越圭子師に師事。

尺八、箏、十七絃、二十絃、三絃奏者として国内外で演奏。

特に2015年、2019年開催のソロリサイタルでは、一人で五つの楽器を演奏するという稀なりサイタルを行う。リリースした CD は10枚を超える。

現在、都山流尺八師範(折本岳慶山)。

生田流箏曲新絃社蒼竜軒(折本大人樹)。新絃社三代家元補佐。

神戸大学国際人間科学部 非常勤講師。大阪国際大学 非常勤講師。

NHK 邦楽技能者育成会46期卒業。



安田 知博-Tomohiro YASUDA (尺八・篠笛・朗読)

熊本県山鹿市出身、京都市在住。10歳より尺八を始め、21歳で都山流師範となる(安田蜂山)。さらに石川利光師に師事し、古典本曲と琴古流を学ぶ。

熊本で開催される全国邦楽コンクールにおいて優秀賞を二度受賞。

関西および熊本県各地にて自主公演を開催する他、スクールコンサートや和楽器体験授業にも取り組んでいる。

ナレーターとしては、盲学校在学中に、全国高校放送コンテストの朗読・アナウンス部門で3年連続優勝。第70回記念選抜高校野球大会で式典アナウンス。

NHK Eテレ「バリバラ」で副音声のナレーションを担当。

ピアニストの石田綾との共同企画「ピアノ×尺八 まぜるな危険」も好評を得ている。